

青森県現代俳句協会会報

令和3年度青森県俳句懇話会十和田紙上大会

今年度も新型コロナウイルス対策のため紙上大会として7月31日に開催されました。当大会は平成28年から本協会が後援したことから青森県現代俳句協会賞が設けられています。その概要を本会員を中心に紹介します。

投句者は199名でした。

兼題はA「青嵐」とB夏季雑詠の二題でした。その結果について会員のみをご紹介します。

◇総合成績

第5位 赤坂雪洲、第14位 坂本幽弦

兼題賞「青嵐」第3位 赤坂雪洲

兼題「青嵐」

木附沢麦青選

人位 青嵐ジャングルジムに一人の子 和田 宗三

佳作 青嵐避けて老年道草す 川村 英幸

木村あさ子選

秀逸 青嵐乳にとどく仔とかぬ仔 坂本 幽弦

佳作 青嵐一肢欠けたる軍馬像 雪田 樹理

佳作 すぐと立つ六本柱青嵐 秋庭善知鳥

佳作 青嵐あらわになりぬ富士額 佐々木朴花

佳作 高岡の苔むす参道青嵐 鈴木とまと

木村 秋湖選

秀逸 山門の太き門青嵐 赤坂 雪洲

金田一子選

人位 たてがみのごとき草原青嵐 南 美智子

秀逸 岩のごとき牛もめつむる青嵐 田村 正義

佳作 ことごとく靡く湿原青嵐 関 礼子

佳作 自転車の少女ふんばる青嵐 油川 月萌

後藤 岑生選

人位 山門の太き門青嵐 赤坂 雪洲

佳作 青嵐あらわになりぬ富士額 佐々木朴花
佳作 岩のごとき牛もめつむる青嵐 田村 正義
佳作 たてがみのごとき草原青嵐 南 美智子
佳作 青嵐去つて遠くの山光る 桜田 花音
坂本 幽玄選

天位 青嵐古諺のごとき沼揺れて 松宮 梗子
秀逸 山門の太き門青嵐 赤坂 雪洲
佳作 青嵐赤子にはやも蹴る力 中村しおん

佳作 青年の青眼の構え青嵐 後藤 瑞江
佳作 高岡の苔むす参道青嵐 鈴木とまと

高橋 千恵選
佳作 青嵐荒くも哀し津軽三味 阿保 子星
佳作 青嵐ジャングルジムに一人の子 和田 宗三

敦賀 恵子選
人位 青嵐乳にとどく仔とかぬ仔 坂本 幽弦
佳作 千年の巨木の沈黙青嵐 稲部天津子

佳作 山門の太き門青嵐 赤坂 雪洲
佳作 たてがみのごとき草原青嵐 南 美智子

佳作 青嵐去つて遠くの山光る 桜田 花音
佳作 青嵐荒くも哀し津軽三味 阿保 子星

烟中とほる選
秀逸 岩木嶺の威風堂々青嵐 森下 睦子
佳作 すぐと立つ六本柱青嵐 秋庭善知鳥

三ヶ森青雲選
秀逸 青嵐赤子にはやも蹴る力 中村しおん
佳作 山門の太き門青嵐 赤坂 雪洲

佳作 ことごとく靡く湿原青嵐 関 礼子
佳作 たてがみのごとき草原青嵐 南 美智子

佳作 青嵐荒くも哀し津軽三味 阿保 子星
吉田千嘉子選

佳作 山門の太き門青嵐 赤坂 雪洲
佳作 青嵐避けて老年道草す 川村 英幸

兼題「夏季雑詠」
小野 寿子選

人位 ワクチンとはと挨拶交はす梅雨晴れ間 清水山植子
佳作 子育てを解かれて軽しあめんぼう稲部天津子

大瀬 響史選
秀逸 半開きに扇をつかふ法事の座 田村 正義
秀逸 梅雨寒や造花並びし位牌堂 鈴木とまと
奥田 卓司選
人位 青嵐頁おさふる金次郎 坂本 幽弦

秀逸 海の香のローカル線や雲の峰 油川 月萌
秀逸 梅雨寒や造花並びし位牌堂 鈴木とまと

草野 力丸選
佳作 草いされにはかに途切る国境 赤坂 雪洲
佳作 梅雨寒や造花並びし位牌堂 鈴木とまと

佳作 無人駅降りれば夏の海あふる桜田 花音
佳作 訪はざれば届く訃報や田植どき松宮 梗子

鈴木志美恵選
人位 海の香のローカル線や雲の峰 油川 月萌
佳作 半開きに扇をつかふ法事の座 田村 正義

高森ましら選
佳作 年寄りには独りになったら蝸牛 千葉 芳醇

田村 正義選
佳作 夏の海芥は波の形なり 佐々木朴花

西川 無行選
佳作 白神のけもの道絶ゆ木下闇 佐藤いく子

日野口 晃選
秀逸 寝返りの足をくすぐる青田風 中村しおん
佳作 ワクチンとはと挨拶交はす梅雨晴れ間 清水山植子

松宮 梗子選
天位 子育てを解かれて軽しあめんぼう稲部天津子
秀逸 夏の海芥は波の形なり 佐々木朴花

佳作 寝返りの足をくすぐる青田風 中村しおん
佳作 手花火や合掌土偶ポーズ解く白戸 星央

第39回県下深浦俳句大会

当大会は新型コロナウイルス対策のため紙上大会として9月に開催されました。本協会も後援しており、協会員も多数参加しております。結果については、協会員のみをお知らせします。

す。

◇総合成績

第20位 中村しおん

宿題A・夏季雑詠

石崎 志亥選

秀逸 ポケットに貝殻一つサンドレス鈴木とまと

佳作 泡沫に言葉を紡ぐ熱帯魚 坂本 幽弦

佳作 炎熱の貨車長々と橋渡る 中村しおん

佳作 青林檎齧ればひかり零れけり桜田 花音

大瀬 響史選

秀逸 夕刊のほてりも届く炎暑かな 稲部天津子

秀逸 ポケットに貝殻一つサンドレス 鈴木とまと

佳作 万緑のうねりの中の白神路 葛西秋遊子

佳作 ホームランアメリカの夏空を抜け清水山楂子

佳作 夕焼けのこぼれる欠けら明日に足す 後藤 岑生

木附沢麦青選

秀逸 今日の事忘れるやうに髪洗ふ 佐々木朴花

佳作 農具より馬具の親しさ蟬しぐれ 松宮 梗子

築館 秋水選

天位 青林檎齧ればひかり零れけり桜田 花音

秀逸 夕刊のほてりも届く炎暑かな稲部天津子

佳作 海の家あるじ独りの夕陽かな白戸 星央

布施 協一選

佳作 炎熱の貨車長々と橋渡る 中村しおん

櫛引 麗子選

秀逸 農具より馬具の親しさ蟬しぐれ 松宮 梗子

佳作 玫瑰や廃墟のホテル海に向く 大瀬 響史

佳作 青林檎齧ればひかり零れけり桜田 花音

くどうひろこ選

佳作 黒鯛や白寿の父の祝ひ膳 油川 月萌

清水 雪江選

人位 青池は白神の御霊秋の声 阿保 子星

佳作 泡沫に言葉を紡ぐ熱帯魚 坂本 幽弦

鈴木志美恵選

地位 農具より馬具の親しさ蟬しぐれ 松宮 梗子

人位 汗清し廃校前の県予選 木村 匡

秀逸 髪洗ふ子の決断を信じめて 森下 睦子

佳作 獅子岩の男盛りや夏怒涛 南 美智子

佳作 泡沫に言葉を紡ぐ熱帯魚 坂本 幽弦

中村しおん選

地位 夕刊のほてりも届く炎暑かな稲部天津子

宿題B・「鳥賊」

高森ましら選

佳作 風を切る真赤なポルシェ鳥賊干し場 稲部天津子

佳作 焼き鳥賊の丸めた中にわさお見る木村 詩織

佳作 灯のひとつ欲しくて浮かぶ夜の鳥賊 成田みどり

佳作 鳥賊裂けば金銀銅と光りをり 佐々木朴花

千葉 芳醇選

地位 なつかしき兄の角帽螢鳥賊 三浦星津女

秀逸 風を切る真赤なポルシェ鳥賊干し場 稲部天津子

秀逸 鳥賊すべて反り癲強し路地市場 坂本 吟遊

佳作 鳥賊づくし夫のうんちく旅の宿 鈴木とまと

佳作 鳥賊船の低く重たく帰りけり 坂本 幽弦

野村 英利選

佳作 灯のひとつ欲しくて浮かぶ夜の鳥賊 成田みどり

西川 無行選

人位 鳥賊船の低く重たく帰りけり 坂本 幽弦

秀逸 黙々と鳥賊焼く女日本海 南 美智子

佳作 鳥賊襖そびらに青き日本海 関 礼子

佳作 離れてはまた重なりぬ鳥賊釣火 中村しおん

稲場天津子選

秀逸 活鳥賊の足のダンスに著惑ふ 赤坂 雪洲

佳作 黙々と鳥賊焼く女日本海 南 美智子

木村あさ子選

天位 鳥賊船の低く重たく帰りけり 坂本 幽弦

関 礼子選

佳作 槍鳥賊のとろりと舌にふるさとが千葉 芳醇

高野万津江選

佳作 焼き鳥賊の丸めた中にわさお見る

佳作 離れてはまた重なりぬ鳥賊釣火 木村 詩織

南 美智子選

天位 槍鳥賊のとろりと舌にふるさとが千葉 芳醇

宿題C・「海」詠込み

木村 秋湖選

佳作 夕焼けを海に畳んで子守歌 木村 詩織

佳作 花莫蔭に大海原の面集かな 坂本 吟遊

佳作 海鳴りは漁師の船唄盆踊り 阿保 子星

後藤 岑生選

地位 海鳴りは漁師の船唄盆踊り 阿保 子星

秀逸 海底に万の遺霊や夏の星 油川 月萌

畑中とほる選

秀逸 海底に万の遺霊や夏の星 油川 月萌

佳作 糠漬の茄子の青さや海のいろ三橋 聖

佳作 海峡を火の色に染め大夕焼 関 礼子

日野口 晃選

秀逸 直角に夏の家へと五能線 清水山楂子

佳作 少年のV字の鎖骨海灼くる 中村しおん2

古川よしみ選

秀逸 夏海や蟹のたつきの細き径 南 美智子

小野 寿子選

佳作 虹の橋文字薄るる海難碑 佐藤いく子

金田一子選

佳作 白神の海の底めく夏を行く 桜田 花音

対馬 迪女選

人位 少年のV字の鎖骨海灼くる 中村しおん

佳作 手花火の尽きて再会約す海 赤坂 雪洲

松宮 梗子選

秀逸 絵日記に海と夕陽と夏の駅 木村 匡

吉田千嘉子選

秀逸 少年のV字の鎖骨海灼くる 中村しおん

佳作 海峡を火の色に染め大夕焼 関 礼子

佳作 海猫渡る沖うすうすと島の影 牧 ひろし

第35回現代俳句東北大大会

今年度も新型コロナウイルスの感染状況が収束しないことから、俳句大会は岩手県が紙上大会で実施しました。

結果は次のとおりとなりました。

現代俳句協会長賞

幼霊も乗りてかたむく茄子の馬

仙台市 丸山千代子

東北地区現代俳句協会連合会長賞

楳足して民話の鬼を昂ぶらす

秋田市 小林万年青

宮城県現代俳句協会会長賞

なまはげも泣く子も男鹿の力瘤

能代市 船越 みよ

福島県現代俳句協会会長賞

淋しさに馴れる淋しさ亀鳴けり

青森市 関 礼子

山形県現代俳句協会会長賞

草むしり地に生えているような母

大潟村 田村 陽子

秋田県現代俳句協会会長賞

緑蔭に生者ばかりが死を語る

八戸市 田村 正義

青森県現代俳句協会会長賞

本籍地探す芒をかき分けて

秋田市 小林万年青

岩手県現代俳句協会会長賞

阿弓流為の戦場に掘る山の芋

石巻市 武山 平

秀逸賞

日本海どぼんと西日煮こぼれる

大仙市 加藤 昭子

被災地に今も本籍青あらし

秋田市 和田 仁

プール出る青年翼たたみけり

福島市 鈴木満喜子

早池峰の神楽太鼓に木の根明く

福島市 鈴木 正治

寝返りのたびに大暑の骨が鳴る

十和田市 中村しおん

赤とんぼしばらく杭になる父よ

能代市 武藤 鉦二

万緑や水の音消す水の音北上市

下田 榮一

虹立ちぬ母は日銭の手を洗う

大仙市 藤澤 隆子

麦秋や土偶にうすき孕み皺

宮城県涌谷町 高橋 彩子

アノラック兄の形に掛けてある

盛岡市 大澤 保子

みんなの木が語りだす終戦忌

宮城県利府町 土見敬志郎

田水引く父に昭和の力あり

能代市 武藤 鉦二

一村がまるごと忌日春しぐれ

秋田市 和田 仁

自肅てふ時の余白を草むしり

一関市 佐々木徳子

柔らかき地球の素肌麦を踏む

秋田市 和田 仁

忘却といふ別れあり合歓の花

青森市 赤坂 雪洲

畳まれしままの国旗や芒種来る

盛岡市 大澤 保子

百歳とこたえし笑顔トマト挽ぐ

盛岡市 高井 武子

笑うにも泣くにも力青胡桃

盛岡市 澤藤寿美子

吊革のぶつかり合つて広島忌

宮城県利府町 土見敬志郎

第61回五所川原市文化祭県下俳句大会

当初は会場での開催を予定していましたが、8月からの新型コロナウイルスの大規模な感染

が始まったことから、兼題だけでの紙上大会に切り替えて10月11日に実施しました。当大会も本協会が後援しています。投句者は124名でした。

兼題は秋季雑詠二題でした。その結果について会員のみをご紹介します。

◇総合成績

第5位 赤坂雪洲、第6位 鈴木とまと、第10位 竹鼻瑠璃男、第14位 土田紫翠、

兼題A・秋季雑詠

小野 寿子選

秀逸 短足に母を乗せ来る瓜の馬 松宮 梗子

秀逸 虫鳴くや誰とも会はぬ日の続く 鈴木とまと

佳作 戦争のひもじさ胸に盆踊り 阿保 子星

佳作 新涼や一日を綴る青インク 赤坂 雪洲

蒲田 吟竜選

秀逸 短足に母を乗せ来る瓜の馬 松宮 梗子

佳作 そぞろ寒吾と同齡の死亡欄 南 美智子

佳作 横顔の子規より知らず子規忌来る 竹鼻瑠璃男

金田 一子選

秀逸 虫鳴くや誰とも会はぬ日の続く 鈴木とまと

佳作 そぞろ寒吾と同齡の死亡欄 南 美智子

佳作 兵の碑百基色無き風の中にか 関 礼子

牧 ひろし選

地位 横顔の子規より知らず子規忌来る

秀逸 白神へ豊満な霧湧きあがる 竹鼻瑠璃男

佳作 胡桃降る縄文文化地に弾む 後藤 岑生

佳作 寺廊下花道となり村芝居 葛西秋遊子

佳作 澤ながく風に伸ばすや秋麗 土田 紫翠

佳作 三橋 浩二選 長尾 青竜

天位 白神へ豊満な霧湧きあがる 後藤 岑生

佳作 屏風山買ねが買ねがの西瓜売り 雪田 樹理

佳作 寺廊下花道となり村芝居 土田 紫翠

高森ましら選

秀逸 縁台の将棋気になる牽牛花 三橋 聖

秀逸 近づけば跳ぶ様やはりばったの子白戸 星央
佳作 屏風山買ねが買ねがの西瓜売り 雪田 樹理
佳作 政変は抜き足差し足鳥威し 川村 英幸
佳作 虫鳴くや誰とも会はぬ日の続く 鈴木とまと
木田多聞天選
人位 横顔の子規より知らず子規忌来る 竹鼻瑠璃男

秀逸 行間を埋める秋の蚊紛れ込む 中村しおん
佳作 新涼や一日を綴る青インク 赤坂 雪洲
佳作 寺廊下花道となり村芝居 土田 紫翠
石崎 志亥選

秀逸 そぞろ寒吾と同齡の死亡欄 南 美智子
秀逸 嶽の朝唐黍茹でる茶髪の子 秋庭善知鳥
佳作 虫鳴くや誰とも会はぬ日の続く 鈴木とまと
佳作 行間を埋める秋の蚊紛れ込む 中村しおん
佳作 寺廊下花道となり村芝居 土田 紫翠
対馬 迪女選

天位 虫鳴くや誰とも会はぬ日の続く 鈴木とまと
秀逸 そぞろ寒みな口づくむ接種かな 牧 ひろし
佳作 兵の碑百基色無き風の中にか 関 礼子
佳作 寺廊下花道となり村芝居 土田 紫翠
木村 秋湖選

地位 虫鳴くや誰とも会はぬ日の続く 鈴木とまと
秀逸 寺廊下花道となり村芝居 土田 紫翠
佳作 横顔の子規より知らず子規忌来る 竹鼻瑠璃男

坂本 幽弦選
天位 白神へ豊満な霧湧きあがる 後藤 岑生
地位 霽ながく風に伸ばすや秋麗 長尾 青竜
人位 寺廊下花道となり村芝居 土田 紫翠
佳作 行間を埋める秋の蚊紛れ込む 中村しおん
佳作 新涼や一日を綴る青インク 赤坂 雪洲
佳作 縁台の将棋気になる牽牛花 三橋 聖
佳作 頂きの辺に一刷毛の秋の雲 佐藤いく子

兼題B・秋季雑詠
中村しおん選
秀逸 眼差しのですに秋めく遮光土偶 阿保 子星

秀逸 アトリエに裸婦二百号秋暑し 牧 ひろし
佳作 星月夜絵本に帰る音楽隊 赤坂 雪洲
鳴海 顔回選

秀逸 凡庸に生き柿の蒂柿の皮 竹鼻瑠璃男
秀逸 太棹を叩く路地うら温め酒 油川 月萌
佳作 菊を選ぶ新寺町の坂の上 木村 匡
佳作 水私語を増やしますます澄みにけり 高野 万津江

佳作 紋黄蝶秋は葉に見ゆ花に見ゆ 坂本 幽弦
佳作 その町の名士の銅像小鳥来る 土田 紫翠
西川 無行選

地位 薄紅葉十二湖をみな鏡とし 葛西秋遊子
秀逸 星月夜絵本に帰る音楽隊 赤坂 雪洲
佳作 ポケットに貝殻ひとつ秋の海 鈴木とまと
畑中とほる選

佳作 津軽野に風の彩り大花野 桜田 花音
佳作 その町の名士の銅像小鳥来る 土田 紫翠
橘川まもる選

天位 アトリエに裸婦二百号秋暑し 牧 ひろし
秀逸 その中の白きコスモス風を呼ぶ 南 美智子
佳作 紋黄蝶秋は葉に見ゆ花に見ゆ 坂本 幽弦
佳作 心電図波は穏やか竹の春 秋庭善知鳥
斎藤ひでを選

秀逸 薄紅葉十二湖をみな鏡とし 葛西秋遊子
秀逸 天と地を引き裂き鬼のねぶた来る三橋 聖
佳作 その中の白きコスモス風を呼ぶ 南 美智子

草野 力丸選
天位 凡庸に生き柿の蒂柿の皮 竹鼻瑠璃男
秀逸 心電図波は穏やか竹の春 秋庭善知鳥
佳作 輝きは推敲のあと白葡萄 千葉 芳醇
敦賀 恵子選

秀逸 アトリエに裸婦二百号秋暑し 牧 ひろし
佳作 眼差しのですに秋めく遮光土偶 阿保 子星
吉田千嘉子選

天位 自画像に意思の見えくる癡祭忌 中村しおん
人位 星月夜絵本に帰る音楽隊 赤坂 雪洲
佳作 薄紅葉十二湖をみな鏡とし 葛西秋遊子

佳作 眼差しのですに秋めく遮光土偶 阿保 子星
佳作 凡庸に生き柿の蒂柿の皮 竹鼻瑠璃男
佳作 浜辺来て聴く松籟も秋の声 関 礼子
大瀬 響史選

天位 星月夜絵本に帰る音楽隊 赤坂 雪洲
秀逸 ポケットに貝殻ひとつ秋の海 鈴木とまと
佳作 薄紅葉十二湖をみな鏡とし 葛西秋遊子
佳作 盃に鎮座させられ新走り 清水山植子

佳作 浜辺来て聴く松籟も秋の声 関 礼子
佳作 押し車に五人の乳児秋澄めり 森下 睦子
松宮 梗子選

地位 星月夜絵本に帰る音楽隊 赤坂 雪洲
佳作 薄紅葉十二湖をみな鏡とし 葛西秋遊子
佳作 眼差しのですに秋めく遮光土偶 阿保 子星
佳作 万葉の薫をまひとつとき咲く 長尾 青竜

◇秋の吟行互選俳句大会のお知らせ

今年度も新型コロナウイルス感染が未だ収束していないことから、恒例の標記大会を昨年と同様に自主吟行互選大会とします。

参加を希望の会員は同封の「吟行互選大会申込用紙」（ハガキ）に参加料を貼り付け、11月10日まで封書に同封の上、申込みください。

謹告

8月24日 豊山くに会員
10月15日 齊藤泥雪顧問
御逝去されました。
御冥福をお祈り申し上げます。

発行所 青森県現代俳句協会
発行人 後藤 岑生

〒03010853 青森市金沢4の10の13